

- 問1 日本銀行が景気の後退（不景気）に対処するために行う金融政策の一つに、「買いオペレーション」があります。この政策の具体的な仕組みとして正しいものはどれですか。（2024年 宮城県公立入試 類似）
1. 日本銀行が市中の金融機関から国債を買い入れ、市場に出回る通貨量を増やします。
  2. 日本銀行が市中の金融機関に国債を売却し、市場に出回る通貨量を増やします。
  3. 日本銀行が市中の金融機関から国債を買い入れ、市場に出回る通貨量を減らします。
  4. 日本銀行が市中の金融機関に国債を売却し、市場に出回る通貨量を減らします。
- 問2 日本において広く行われている、銀行などの金融機関が家計から預金として集めた資金を、家計に代わって企業などの資金を必要とする組織に貸し出す仕組みを何といいますか。（2024年 大阪公立入試 類似）
1. 間接金融
  2. 直接金融
  3. 消費者金融
  4. 公共金融
- 問3 保険会社が提供するサービスには、大きく分けて人間の生死や病気に関わるものと、偶発的な事故による財産の損失に関わるものの2種類があります。このうち、建物の火災や自動車事故による損害を補償する保険の名称として適切なものを選びなさい。（2021年 千葉県公立入試 類似）
1. 生命保険
  2. 損害保険
  3. 社会保険
  4. 雇用保険
- 問4 不景気の際、日本銀行が公開市場操作として行う「買いオペレーション」の仕組みと目的について述べた文として、正しいものはどれですか。（2025年 東京都公立入試 類似）
1. 日本銀行が市中銀行から国債などを買い入れることで、市場の通貨量を増やし、景気の回復を図る。
  2. 日本銀行が市中銀行へ国債などを売却することで、市場の通貨量を減らし、物価の安定を図る。
  3. 日本銀行が国民から直接国債を買い取ることで、個人の預貯金額を増やし、消費を拡大させる。
  4. 日本銀行が政府に直接資金を貸し付けることで、公共事業の予算を確保し、失業者を減らす。
- 問5 資金の貸し借りが行われる金融市場において、元金に対する利子の割合を示す言葉として正しいものはどれですか。（2020年 神奈川県公立入試 類似）
1. 金利
  2. 為替相場
  3. 物価上昇率
  4. 自己資本比率
- 問6 2024年度から導入された新しい一万円札のデザインにおいて、肖像として描かれている人物は誰ですか。この人物は、第一国立銀行の設立に関わったことなどから「日本資本主義の父」と呼ばれています。（2020年 鳥根公立入試 類似）
1. 渋沢栄一
  2. 福沢諭吉
  3. 津田梅子
  4. 北里柴三郎
- 問7 不況の際、日本銀行が景気を刺激して安定させるために行う金融政策について、市場に出回る資金の量を増やすための適切な操作はどれですか。（2024年 福岡県公立入試 類似）
1. 日本銀行が民間銀行から国債などを買い入れ、その代金を支払うことで資金を供給する
  2. 日本銀行が民間銀行へ国債などを売り、その代金を回収することで資金を吸収する
  3. 政府が公共投資を削減することで、社会全体の支出を抑えて物価を安定させる
  4. 政府が増税を実施することで、企業の経済活動を抑制し景気の過熱を防ぐ
- 問8 不況の際、日本銀行が市場の通貨量を調整するために行う「買いオペレーション」の説明として、最も適切なものを選びなさい。（2023年 群馬県公立入試 類似）
1. 日本銀行が一般の銀行から国債などを買い取り、世の中に出回る通貨量を増やす
  2. 日本銀行が一般の銀行に国債などを売却し、世の中に出回る通貨量を減らす
  3. 政府が公共事業への支出を増やし、社会全体の景気を刺激する
  4. 政府が所得税の増税を行い、景気の過熱を抑制する
- 問9 クレジットカードを用いた取引では、消費者が店で商品を受け取った際、代金をカード会社が一時的に立て替え、後日消費者がカード会社に代金を支払う仕組みになっています。このような仕組みにおいて、将来の支払いに困らないよう「計画的な支出管理」が求められる理由として、最も適切なものはどれですか。（2021年 群馬県公立入試 類似）
1. 現金を使わないためにお金を使った実感を持ちにくく、自身の収入を考えずに使いすぎてしまう恐れがあるから
  2. 商品の購入と同時に銀行口座から即座に代金が引き落とされるため、残高不足による決済不能を防ぐ必要があるから
  3. カード会社が代金を立て替えることで、消費者は将来の支払い義務を負わずに商品を受け取ることができるから
  4. クレジットカードは自身の収入に関わらず、利用限度額の設定なしに無制限に利用することが一般的であるから
- 問10 日本銀行の役割に関する記述のうち、「銀行の銀行」としての業務に該当するものはどれですか。他の役割である「政府の銀行」や「発券銀行」と混同しないように選びなさい。（2020年 香川公立入試 類似）
1. 国民から納められた税金を、国の公金として預かったり管理したりする。
  2. 日本で唯一、お札（日本銀行券）を発行し、世の中に流通させる。
  3. 民間の金融機関の間で発生した資金の貸し借りを、それぞれの預金口座を通じて決済する。
  4. 道路や橋を作るための国の予算が、計画通りに支払われるよう手続きを行う。
- 問11 景気が後退し、物価が下がり続けるデフレ傾向にあるとき、日本銀行が市場に出回る通貨の量を増やして景気を刺激しようとする際に行う操作として、最も適切な説明を選択してください。（2017年 埼玉県公立入試 類似）
1. 日本銀行が民間の金融機関から国債を買い入れ、その代金を支払うことで市場の資金を増やします。
  2. 日本銀行が保有する国債を民間の金融機関に売り、その代金を回収することで市場の資金を減らします。
  3. 政府が道路や橋などの公共事業への支出を増やし、社会全体の仕事の量を増やします。
  4. 公正取引委員会が価格カルテルを制限することで、企業間の公正な競争を促進する。
- 問12 株式会社における資金の循環において、調達した資金を設備投資や人件費に充てて生産・販売活動を行い、その結果として得られた利潤（もうけ）の一部を株主に還元する仕組みがあります。この、株主への利益の分配を何といいますか。（2022年 香川公立入試 類似）
1. 配当
  2. 利子
  3. 社債
  4. 内部留保
- 問13 「日本銀行」が景気の安定を図るために、一般の銀行との間で国債を売買することなどを通じて、世の中に流通する通貨量を調節する仕組みを何とよいか。（2023年 長崎公立入試 類似）
1. 金融政策
  2. 財政政策
  3. 社会保障制度
  4. 独占禁止法

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 日本銀行が市中の金融機関から国債を買い入れ、市場に出回る通貨量を増やす。	景気が悪い時期には、経済を活性化させるために世の中に出回るお金の量を増やす必要があります。日本銀行が民間銀行などの金融機関が保有する国債を買い取ることで、その代金が銀行に支払われ、結果として市場の通貨量が増加します。これを「買いオペレーション」と呼び、公開市場操作の代表的な手法です。
問2	答え 1 間接金融	資金の出し手（家計）と受け手（企業）の間に銀行などの金融機関が介在し、預金という形で資金を集めて仲介を行う仕組みです。資金の出し手が直接、どの企業に資金を供給するかを選択しないため、このように呼ばれます。
問3	答え 2 損害保険	保険会社が扱う民間保険は、主に「生命保険」と「損害保険」に分かれます。生命保険は人の生存や死亡に対して保険金が支払われるのに対し、損害保険は火災、地震、交通事故など、偶発の事故によって生じた実際の損害を埋め合わせることを目的としています。なお、国や地方公共団体が運営し、加入が義務付けられているものは社会保険と呼ばれます。
問4	答え 1 日本銀行が市中銀行から国債などを買い入れることで、市場の通貨量を増やし、景気の回復を図る。	買いオペレーションは、日本銀行が民間の金融機関（銀行など）が保有する国債を買い、その代金を支払うことで行われます。これにより、民間金融機関が持つ資金が増え、企業や個人への貸し出しが活発になります。市場に流通するお金の量が増えることで、停滞した経済を刺激し、景気を向上させることが主な目的です。反対に、好景気で物価が上がりすぎたときには国債を売る「売りオペレーション」が行われます。
問5	答え 1 金利	借りたお金（元金）に対して、どの程度の割合で利子を支払うかを数値で表したものが金利です。一般的に「利回り」や「利率」とも呼ばれ、景気の状態や日本銀行の政策などによって変動します。金利が高くなると借り手の負担が増え、低くなると借りやすくなるため、経済活動に大きな影響を与えます。
問6	答え 1 渋沢栄一	2024年度に刷新された日本銀行券の一万円札には、渋沢栄一の肖像が採用されました。渋沢栄一は明治時代から大正時代にかけて、日本初の銀行である第一国立銀行の設立を主導し、500以上の企業の創設に関わった実業家です。紙幣の刷新は、偽造防止技術の向上などを目的に定期的に行われています。
問7	答え 1 日本銀行が民間銀行から国債などを買い入れ、その代金を支払うことで資金を供給する	不況時には、世の中のお金を増やして経済を活性化させる必要があります。日本銀行が民間銀行から国債などを買い取る「買いオペレーション」を行うと、その代金が民間銀行に支払われ、市場に流通する通貨量が増加します。これにより金利が下がり、企業や個人が資金を借りやすくなることで景気の回復が期待されます。
問8	答え 1 日本銀行が一般の銀行から国債などを買い取り、世の中に出回る通貨量を増やす	景気が悪いとき、日本銀行は世の中にお金を流通させて経済を活性化させる必要があります。そこで、日本銀行が一般の銀行が持っている国債を買い、その代金を支払うことで、銀行が企業や個人に貸し出せるお金（通貨量）を増やす政策をとります。これを「買いオペレーション」と呼びます。選択肢にある「売却して通貨量を減らす」のは、景気が良すぎるに行われる「売りオペレーション」です。また、公共事業や増税は政府が行う「財政政策」であり、日本銀行が行う「金融政策」とは区別されます。
問9	答え 1 現金を使わないためにお金を使った実感を持ちにくく、自身の収入を考えずに使いすぎてしまう恐れがあるから	クレジットカードは、購入時点では現金の支出を伴わないため、心理的に「お金を使った」という感覚が薄れやすい傾向にあります。そのため、自分の将来の収入や他の支出予定を十分に考慮せずに利用を重ねてしまうと、後日の支払い期日に資金が不足し、返済が困難になるリスクがあります。このような事態を避けるために、自身の経済状況を把握した計画的な利用が不可欠です。
問10	答え 3 民間の金融機関の間で発生した資金の貸し借りを、それぞれの預金口座を通じて決済する。	「政府の銀行」は国（政府）の資金（税金など）を扱う役割、「券発銀行」は紙幣を発行する役割です。「銀行の銀行」は、民間の銀行が日本銀行に持っている口座を利用して、銀行間の膨大な取引の決済を行う業務などを指します。これにより、私たちの振り込みなどの仕組みが安全に保たれています。
問11	答え 1 日本銀行が民間の金融機関から国債を買い入れ、その代金を支払うことで市場の資金を増やす。	不況の際には、日本銀行が民間の金融機関から国債などを買い取る「買いオペレーション」を行います。これにより、代金として支払われた現金が民間金融機関に流れ、企業や個人への貸し出しが容易になることで、経済活動を活性化させる狙いがあります。国債を売る操作は、景気が過熱してインフレの恐れがあるときに行われる逆の操作です。
問12	答え 1 配当	企業は株式を発行して集めた資金で事業を運営し、利益が出た場合には出資者である株主に対してその持ち分に応じた利益の分配を行います。一方、「利子」は銀行からの借り入れや社債に対して支払われるものであり、利益の有無にかかわらず契約に基づいて支払われるという違いがあります。
問13	答え 1 金融政策	日本銀行が通貨の供給量を調節することで、物価の安定や経済の健全な発展を目指す仕組みを金融政策と呼びます。主な手段として、市場での国債の売買（公開市場操作）があります。選択肢にある「財政政策」は、政府が予算や税制を通じて景気を調整するものであり、実施主体が日本銀行である場合には「金融政策」が適切な用語となります。